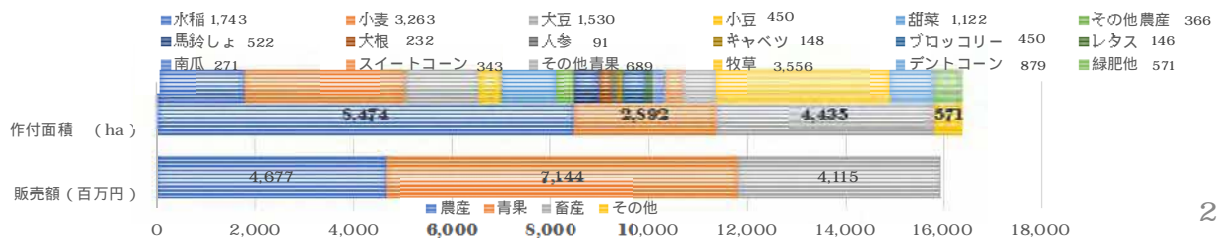


畑作地帯における エゾシカ被害

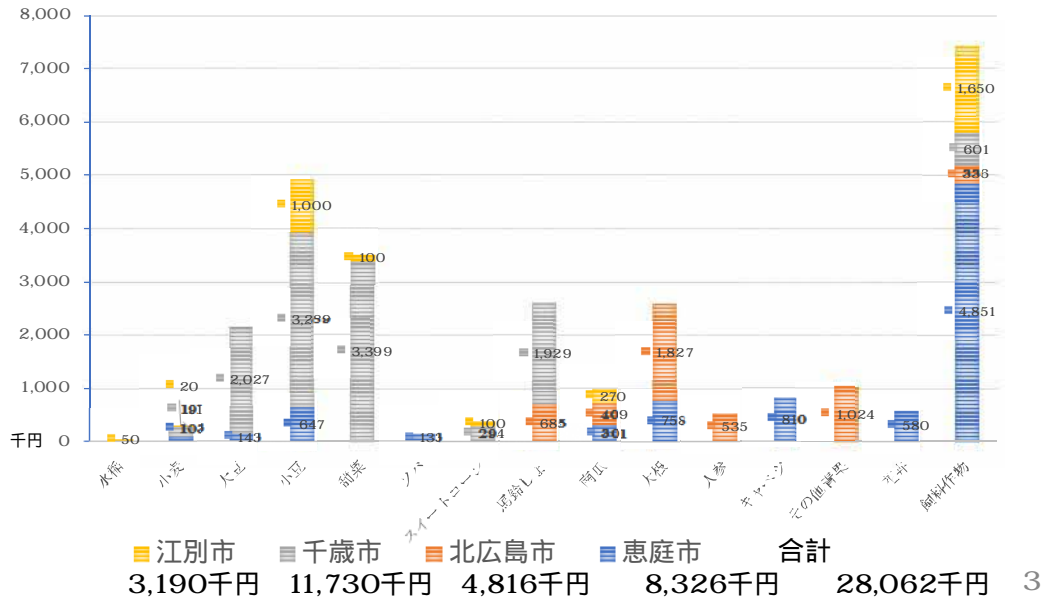


組合名 道央農業協同組合
 設立 平成13年2月1日
 地区 江別市・千歳市
 北広島市・恵庭市 他
 組合員 正組合員 1,644名
 准組合員 17,014名
 役員 理事 17名・監事 4名
 職員 正職員 277名
 準職員 73名
 地区内農地面積 16,370ha
 農畜産物販売額 15,937百万円

令和2年1月31日現在



令和元年度 JA道央管内作物別エゾシカ被害額



エゾシカによる農産物被害事例

(江別市)



小豆・大豆 (豆類全般)

5月 (出芽直後) ~ 8月
 ・新芽・さやの食害
 ・踏みつけ・伏臥による
 枝茎折れから病害助長

エゾシカによる農産物被害

(江別市)

飼料用作物

とうもろこし

5月(出芽直後)～9月

・新芽や雌穂の食害



牧草

4月・収穫後の生育期

・新芽の食害(マメ科を好む)

5

エゾシカによる農産物被害

(江別市)

南瓜

7月～8月

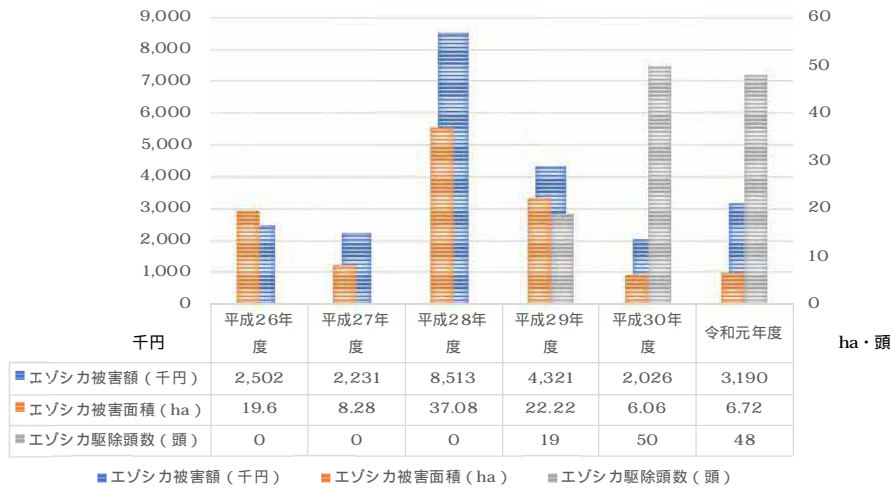
・結実～収穫間
近の果実の食害

・軽微食害でも
商品価値「0」



6

江別市におけるエゾシカ被害推移



農業者の「自助」努力

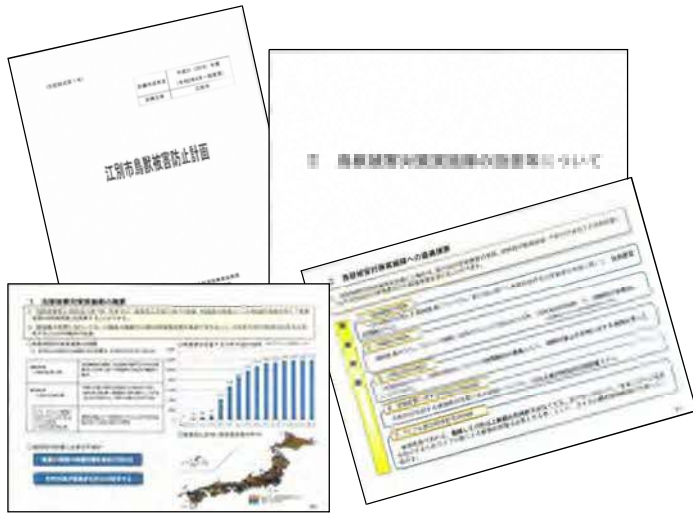


圃場への侵入防止対策
電気牧柵
オオカミ型ロボット
いずれも高コスト



自ら捕獲・駆除へ
農業者の狩猟免許取得
経営規模拡大・複数圃場見回り等の負担増

国・地方公共団体による「公助」の取組



鳥獣被害防止特措法

鳥獣被害防止計画の制定

(市町村毎)

鳥獣被害防止対策実施隊の

設置(市町村長が任命又は指名)

地方公共団体による予算措置

被害防止活動への財政支援

9

J A・猟友会など地域ぐるみの「共助」活動



捕獲・駆除活動の実践

鳥獣被害防止対策実施隊による捕獲・駆除活動

北海道猟友会江別支部

J A道央もH29年より

本格参画し、職員へ

わな猟免許取得を推

進。

令和2年度実施隊加入

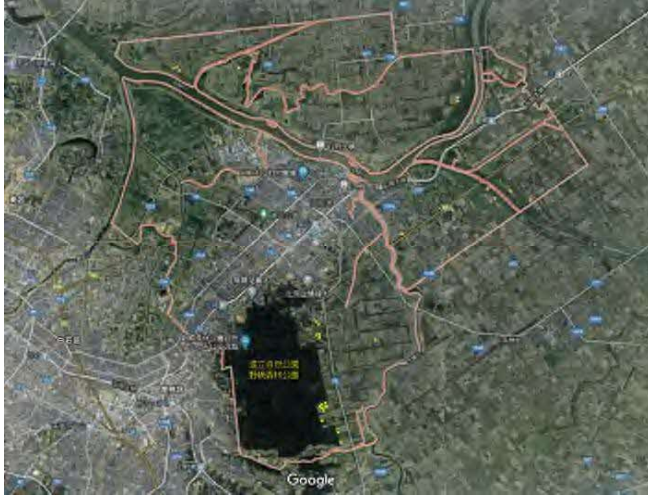
男性 3名

女性 2名



10

エゾシカ出没情報・被害地の傾向



江別市

- ・道立野幌森林公園付近
- ・石狩川、千歳川、
篠津運河等の河川敷地沿線

鳥獣保護区である野幌森林公園の推定生息数が増加

11

今後の課題

各地域における自助、公助、共助の連携強化

水際対策の限界

- ・担い手の不足
- ・巡回負担や捕獲個体の処理負担増

被害軽減目標と捕獲計画目標の明確化



12